

2022年6月22日

東京都港区六本木六丁目8番10号
 会社名 株式会社モブキャストホールディングス
 代表者名 代表取締役CEO 藪 考 樹
 (コード番号：3664 東証グロース)
 問合せ先 取締役CFO管理本部長 岡 田 晋
 (TEL.03 - 5414 - 6830)

2022年12月期第1四半期決算説明資料に対する質疑応答について

当社が公表しました2022年12月期第1四半期決算説明資料について受け取りましたご質問事項への当社の回答を、投資家の皆様にお知らせいたします。

Q1	第33回新株予約権について 当初、既存株主に与える影響は少ないとしながら行使時から株価は半分になり、既存株主に大きな影響を与えたと考えますが、その点どのように考えていますでしょうか？
A1	引き続き企業価値の向上に努めてまいります。

Q2	第33回新株予約権の資金調達金額は421百万円でした。 新規企業取得又は出資費用をまかなうことはできなかったと考えますが、逼迫した今の財務状況で、大丈夫なのでしょうか？もし、現時点で、再度新株予約権を発行すると、第33回新株予約権と同様に株価が下落し、十分な資金をえることが難しいと予測できますが、発行することを考えていますでしょうか？
A2	新株予約権の発行による資金調達につきましては、2022年6月3日付「第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第34回新株予約権の発行、新株予約権付社債及び新株予約権の買取契約の締結並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」にてお知らせしたとおりです。当社グループでは、2022年5月26日付「連結子会社の一部株式譲渡及び特別利益発生並びに連結子会社のストック・オプション（新株予約権）の行使に関するお知らせ」のとおり、事業シナジーを実現できる企業と資本業務提携を通じて業績向上と成長資金の確保を実現していく方針です。また、引き続き決算説明資料に記載しております、『子会社事業に関係しない保有資産の売却等によるキャッシュフローの改善』策を継続しており、これらの施策を優先して実施することで、財務基盤の安定化を図ってまる所存であります。

Q3	短信の P.4 に「プロ野球最強オーダー編成バトル「モバプロ」の売上は堅調に推移しており」とありますが、このゲームはオルトプラスに譲渡したので、もう関係ないのではないですか？（モブキャストゲームスの H/P にも表示されていませんが）
A3	2020 年 2 月 13 日付「孫会社の異動（株式譲渡）に伴う一部ゲームタイトル譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、一部のスポーツタイトルをオルトプラスへ譲渡しております。『モバプロ 2022 プロ野球最強オーダー編成バトル』については、株式会社モブキャストゲームスにて運営を行っております。

Q4	2022 年度 12 月期連結業績予想は売上 54 億、営業利益 4400 万円に対して、第 1 四半期は売上 9.44 億、営業利益 - 8500 万円とかなり低い数値に見えるのですが、予想に対して順調に推移しているといえるのですか？ 第 1 四半期はコロナの影響がまだあり、売り上げは悪いが、今後は売り上げがあがるという計画を当初からたてていたのですか？ ゆとりの空間は、4、5 月で、それまでの 3 月と比較して売り上げが大きくのびているのですか？
A4	開示している業績予想はあくまで通期の数字であります。今後、業績予想を修正する可能性が発生しました場合、すみやかに開示を実施してまいります。

Q5	自己資本比率が、2021 年 12 月期 6.19%に対し、2022 年第 1 四半期では 4.16%と悪化していますが、問題ないという考えでしょうか？
A5	2022 年 5 月 26 日付の「連結子会社の一部株式譲渡及び特別利益発生並びに連結子会社のストック・オプション（新株予約権）の行使に関するお知らせ」にてお知らせしておりますように、特別利益の発生により自己資本比率は改善する見通しであります。また、決算説明資料に記載しております、『子会社事業に関係しない保有資産の売却等によるキャッシュフローの改善』等を実施する事で特別利益を計上する事でも改善すると考えております。

Q6	関連会社 4 社をグロースフェーズとして支援していくとありますが、具体的にはどのような活動を行うのですか？ 特に、レトロワグラスは、ずいぶん赤字との話もありますが、投資する価値はあるのですか？
A6	具体的な内容につきましては、現在計画遂行中であり、皆様にお知らせできるタイミングになりましたら、お知らせいたします。

Q7	映画プロデューサーによるクリエイターネットワークとの共創 とは、具体的にはどのようなことですか？（今回、初めて出てきたようですが）
A7	具体的な内容につきましては、現在企画検討中であり、皆様にお知らせできるタイミングになりましたら、お知らせいたします。

Q8	モブキャストゲームスのゲーム開発に、水口哲也氏の協力を得れば、これまでにないスマホゲーム開発ができると思います。また、既存のスマホゲームの IP をエンハンスへ提供し、3D や位置ゲームなど新たなゲーム開発を行うなど、モブキャストゲームスの領域の拡大を図るべきであると考えますが、見解を伺いたいです。
A8	ご提案頂きまして、ありがとうございます。モブキャストゲームスにおきましては、「IP プロデュース」と「新規 IP の創出」の両輪にて事業成長を目指しております。

以 上